

ぷらすメンバー向けアンケートの結果について(概要)

資料 5

アンケート期間	・ 令和6年1月9日(火)～1月31日(水)
調査対象者	・ 「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方

- 回答者368人(いけんひろばに参加したことがある人223人、ない人145人)
- いけんひろばに参加したことがある人のうち、
「意見を聴かれたと感じた」: 117人(52.5%)、「聴かれなかったと感じた」: 22人(9.9%)、「どちらともいえない」: 84人(37.7%)と回答しています。

その理由

「意見を聴かれたと感じた」

★意見が記録され、公表されていたから。

- ・ オンラインで話を伝えることができ、正しい議事録が残っていたため
- ・ まとまった意見がホームページに載せられた際、自分の意見も入っていたから

など

★ファシリテーターの進行がよかったから。

- ・ ファシリテーターが何度も話を振ってくれたから
- ・ ファシリテーターさんが上手にまとめてくれて、ほかのみんなが同感してくれたから

など

★自分の意見を言うことができたから、話を聞いてくれる環境が整っていたから。

- ・ 自分の意見をしっかり言えたから。
- ・ アンケートには自由記述欄があることで、自分の意見を発信している実感があつた。

など

「聴かれなかったと感じた」

★政策に反映されなかったから。

- ・ ありきたりの質問が多く、実際、反映されていると感じにくい
- ・ そもそもこちらの回答をどう活かしているのか全く分からない

など

「どちらともいえない」

★政策に反映されたかわからないため。

- ・ 自分の意見がどのように反映されているかわからないから。
- ・ いけん広場のメールを毎回必ずチェック出来ておらず、(アンケート内容やメールの内容、pdf等全てに目を通せていない)結果的に自分の意見が反映してあるかどうかを知る術がないから。

など

★アンケートのいけんひろばしか参加していないため。

- ・ アンケートだとその反応は返ってこないから。
- ・ 意見というのはYes、NOだけでは無いのに、2択しかない、私の全ての情熱を注いだ回答は聞かれないと感じたため。

1 など

ぷらすメンバー向けアンケートの結果について(概要)

- いけんひろばに参加したことが「ある」と答えた人のうち、「いけんひろば」に参加する前と後で、「意見を言う」ことについて、**気持ちに変化があった人：76人(34.1%)**、**変化がなかった人：82人(36.8%)**、「**どちらとも言えない人**」：65人(29.1%)

「意見を言うこと」について寄せられた感想

- 意見を言う、持てることは素晴らしいことで、どんどん発言していくべきなのだと思います。
- 以前は自分の意見なんて聞いてもらえない、自分の意見で何かが変わるわけがないというネガティブな気持ちが大きく、思っても言わないことが多かったのですが、いけんひろばに参加するようになって自分の意見はごく小さいものかもしれないが「気持ちを積極的に伝える」ということに意味があるのではないかと意見発信に前向きな気持ちを持つようになりました。
- 社会の一員として、しっかりと自分の考えに責任を持つべきことを自覚した。また、自分が意見を言っても良いことが嬉しかった。
- 学校だと意見に対する正解不正解があるから怖いけど、なんとなくみんなわかってくれるから意見を言うことに対する抵抗感が学校より少なかった。

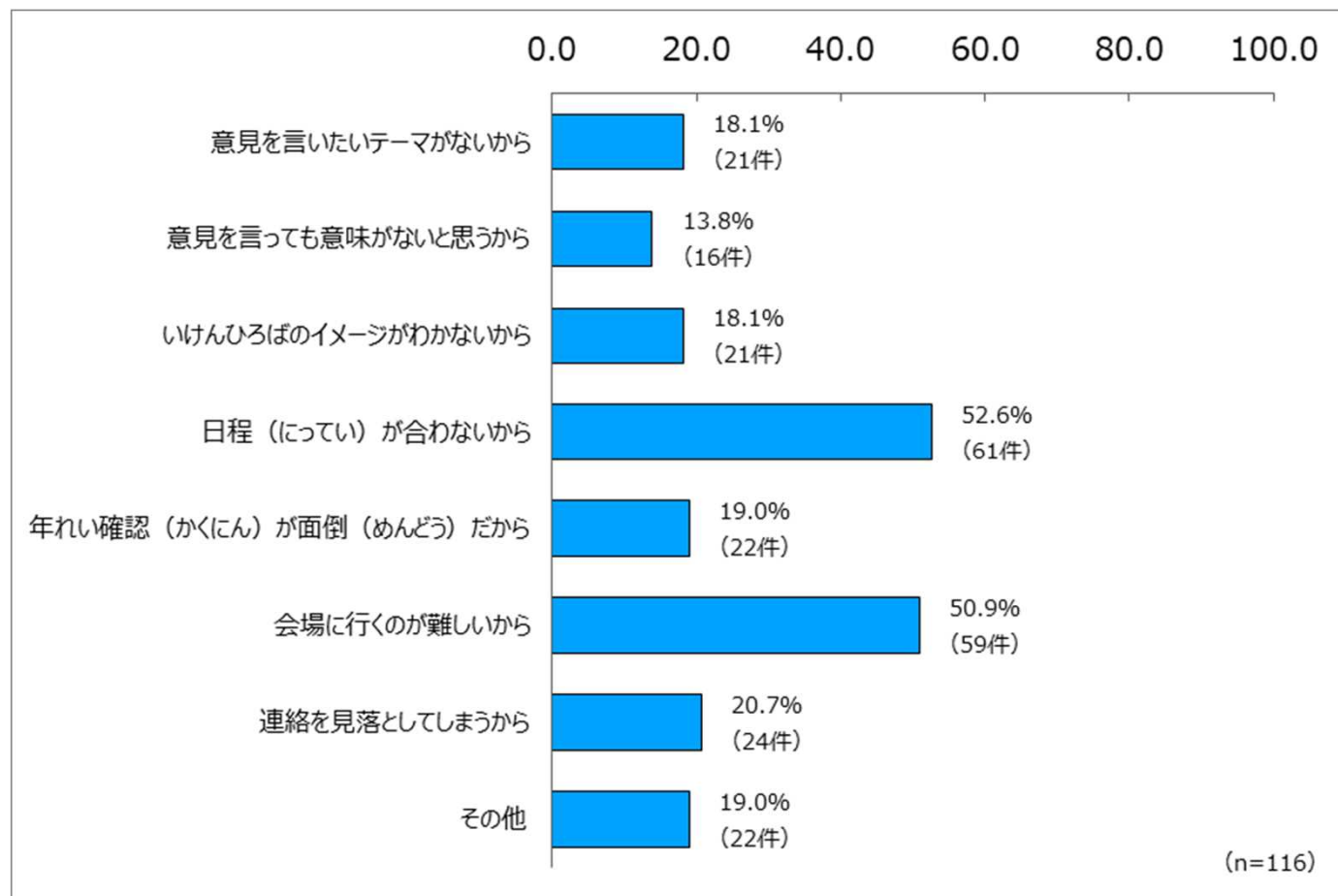
など

- やっぱり知らない人の前だと難しいと思った。
- 外から考えることと実際に参加して意見を言うのでは重みが近い（違い？）発言が難しかった。
- 意見を言っても意味ないのではと感じた

など

ぷらすメンバー向けアンケートの結果について(概要)

● いけんひろばに応募しなかったのはどうしてですか。(複数回答)



【その他の内容】

- ・ 最近メンバー登録したばかりで、いけんひろばの募集がなかったから
- ・ 言いたかった意見があっても年齢が限られていて言えなかったから。
- ・ 授業課題の提出など、日々の生活でのタスクの方を優先するから。
- ・ もっと真っ先に行うべき大事なテーマ(年少扶養控除、障害児の家庭含む所得制限、子育て世帯の税負担)をわざと取り扱おうとしないし、中には予算を無駄遣いしているような内容(イベント)もあり、こども家庭庁の活動に意義を見出せないから。

ぷらすメンバー向けアンケートの結果について(概要)

- 「いけんひろば」に応募しなかった理由について、どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか。

★メール以外での案内について

- LINE公式アカウントでの定期的な告知。
- メールでの連絡だと気づかないので、LINEでの連絡の方が気づきやすいと思う。

など

★参加手法について

- 会場に行ったりオンラインで話すのは、兄弟との兼ね合いなどで難しいので、書面やスマートフォンを通して、文章で意見を伝えられるようにしてほしい。
- オンラインで顔を出したくないので、チャット形式にしてもらえると嬉しい。

など

★開催日時について

- もっと行きやすい場所、行きやすい時間、行きやすい日にちにして欲しいです。学校を休んだり、習い事を休んでまで行くことができないから、土日や祝日、19時以降からとかならもっと行きやすいと思う。また、場所が遠すぎて費用がかかるしそんなところにまで行く時間はないから、もっと地方ごとに開催することができたら行ける人は増えると思う。
- 社会人対象のものは20時以降など仕事をした後に参加出来るものと参加しやすい。連絡に関しては、メールだと開く時間もなく見落としやすいのでサイトやアプリがあるとわかりやすい。
- 長期休みの間に設定してほしい。

など

★開催場所について

- 開催する場所を増やす。
- 東京だけでなく各地方ごとに集合できるような仕組みを取り入れる
- 住んでいるところと近いところならば
- 堅苦しいイメージがあるためもっと気軽に行けるような場所にしていくべきだと思う。

など

★その他

- いけんひろばの実際の様子を写真で見たり、いけんひろばで話された内容を知る機会があったりしたら嬉しい
- 子連れでも行きやすければ参加できます
- テーマを決めた話し合い以外に、参加者の交流目的のイベントがあれば、参加のハードルが下がると思う

など